

「やさしさ」と  
「ありがとう」が  
出会う場所。



北永井児童館で開催された「子ども服リサイクル広場」に集まった子どもたちと保護者。10年以上も続く人気のイベントです。



やさしさを、  
ありがとう。

ヒト・モノ・コトがつながる町

# やさしさを、 つながる。

社会での活動が平常に戻りつつある今。人と人のつながりを生み出すことで笑顔を出している人たちに、その想いを聞きました。

*Tsunagaru Miyoshi*

## 皆

さんは「つながり」という言葉からどんなことを思い浮かべますか。周りの人との会話や、インターネット、電話でのやり取りなど、生活の中には人と人を結ぶ、様々な「つながり」があります。

5月8日(月)、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に変更されました。感染症対策が緩和され、平常の生活をとり戻しつつある今。町には、様々な方法でつながりを生み出し、たくさんの方の笑顔を出している人たちがいます。

今月の特集のテーマは「やさしさで、つながる」。人や社会をつなぐ活動へかける想いを取材しました。



会場でお気に入りのおもちゃを見つけた子どもたちは、大事そうに抱えて持ち帰りました。

6月7日(水)、色とりどりの子ども服やおもちゃが並べられた児童館のホールに、続々と親子連れが集まってきました。この日開催されたのは「子ども服リサイクル広場」。地域の人から譲ってもらった子ども用品を必要のない人に無償で提供するイベントです。「最近では近所の人同士でおさがりを譲り合うことも減っていると思うので、地域の人とつながるきっかけになってくれたら嬉しいです」と話すのは、ボランティアとして毎回運営に携わっている清水さん。来場者の中には「お礼に私も出品したい」と、次の機会に服を持ってきてくれる人も多いと言います。

出品者の想いと受け取る人の感謝。ここは、その両方のあたたかい気持ちにつながる場所です。

### 約400点の品物を仕分け！3人のボランティアさん



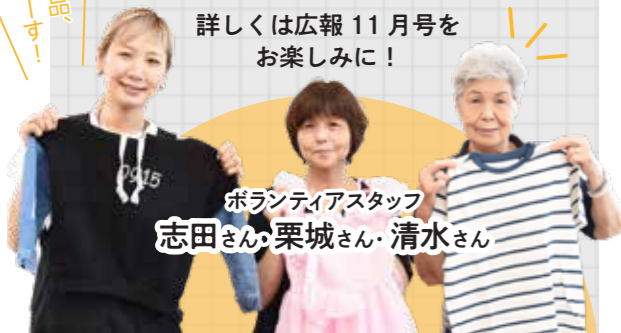
①仕分けされた衣類。これでもコロナ前より少ないそう。「もっと多くの人にこのイベントを知ってもらいたいです(栗城さん)」②来場者の服選びをお手伝い。

今回、集まった品物は約400点。その全てをサイズごとに仕分けし、当日の運営にも携わっていたのは近所に住む3人のボランティアさん。「かわいい子ども服ばかりで毎回楽しんでやっています(志田さん)」

次回開催は12/6(水)

詳しくは広報11月号をお楽しみに！

来場・出品  
待ってまーす！



ボランティアスタッフ  
志田さん・栗城さん・清水さん